

「亡霊が動き出した」。沖美町のある町議が声を潜めて言った。同町沖の無人島、大黒神島への米空母艦載機の夜間発着訓練(NLP)施設の誘致を求める動きが、同町内で再燃し始めたというのだ。構想は1年5カ月前に発覚し、圧倒的な反対の声の前に間もなく頓挫。誘致活動の再興は不可能に見えた。だが、今年11月の江能4町合併による江田島市成立も射程に入れ、息を吹き返そうとしている。島どういめんNLP誘致の影を追った。

18日開会した同町定例 地誘致推進期成同盟会「議案。普設通りの一般質問が結成された。毎日新聞問があり、審議は短時間が入手した名簿には、建て終了し、閉会した。実設、漁業関係者ら約30人はこの日、NLP誘致にが名を連ねる。

ついで、推進、反対両派、同盟会関係者によるの町議とも松井晃町長のと、昨年2月に谷本英一考を問う計画だった。前町長が誘致構想を白紙しかし、両派とも、結局撤回して辞任したが、直は質問をやめた。町内の後から水面下では再興を事情通の一人は、「推進期す動きがあった。同4派は最終的に、またその月、町の一部有力者が防時ではないと判断した。衝庁に連絡を取り、構想反対派も、その様子を見るの再浮上が可能かどうかで議論を先送りした」とを聞いた。

同日、町内の建設業者が消滅していないことを会長は、「大黒神島基示したという。この関係

沖美に基地誘致の「亡霊」



NLPに関する一般質問が行われる予定だった沖美町議会。約3時間ですべての日程を終え、閉会した—18日午後0時ごろ

建設業者ら 推進同盟会を結成

建設業者ら
今日1日

「亡霊が動き出した」と話した。今後、同盟会は町内で誘致を求める署名活動を進める方針。町民の半数の賛成は取れるともくろんでいる。今回、町議会の質問をやめた背景に

だ。推進派は今年4月下旬、同町の商工会長に、同盟会の会長になるよう頼み込んでいた。かねてから誘致反対の商工会長は即座に断ったが、その後、2度、3度と足をこたは断念したが、商工

会関係者を働きかけの活発さで驚かせた。町議への説得も行われ、有力町議の一人は「昨年10月にメンバーになるよう熱心に誘われた」と話した。同盟会側は「北朝鮮の警戒など世界情勢が悪化する中、日米同盟を強化し、平和を守ることに貢献する施設を誘致したい」とする。しかし、過疎に悩む同町には「迷惑施設が町の起死回生の秘策」という考えが根深く、同盟会の活動の原動力もそこにある。



青い海に囲まれた大黒神島。周辺の海域は絶好の漁場だという

「基地だったら海は守られるけどな」
大黒神島基地誘致推進期成同盟会のメンバーの漁業関係者が、日焼けした顔で話した。沖美町内では最近、新たな産業廃棄物処分場建設の計画が浮上している。荒れ地と

「基地なら海は守られる」

足も危機的な状況だ。そんな中、町の活性化のために、国の補助金や優遇措置を得られる施設の誘致を求める声は強い。この漁業関係者も、何がしかの施設誘致が必要と考えている。
「子どもが沖美を出た人には分かん。わしの各運動を展開した片谷健一郎さん(64)。同様の思いつから、迷惑施設を誘致した全国各地の町が、必ずしも幸せな現在を築いてはいないとみる。沖美町民も、そのことは分かっている。昨年1月に誘致構想が発覚した翌日、同町役場には抗議
米空母艦載機の夜間発着訓練(NLP)施設の誘致が実現すれば、周辺自治体への影響も避けられない。米軍基地の監視を続けている「ピースリंक」広馬・呉・岩国1の世話人、湯浅一郎さんは「NLPは環境破壊や騒音問題だけでなく、(20キロほどの距離の)広島市上空で航空機事故を引き起こす可能性もある」と指摘する。谷本前町長辞任の背景には、周辺自治体や県が即座に反対したこともある。

新たな産廃施設誘致も

子ども、そのうち子どもが生まれるじやろ。そうしたら、子どもはどの学校に行かすの。4、5人じやあ学校にならんじやん。やっぱ不安なんよ」
この人にとって、誘致施設の条件は、長年生活の糧としてきた海を守る権利としてきた海が守られること。処分場は受け入れられない。「ゴミは孫の代まで残り、海を汚す。ゴミの処理の方がすくすく」
「町の活性化」という
さあ、片谷さん、

うづめく影

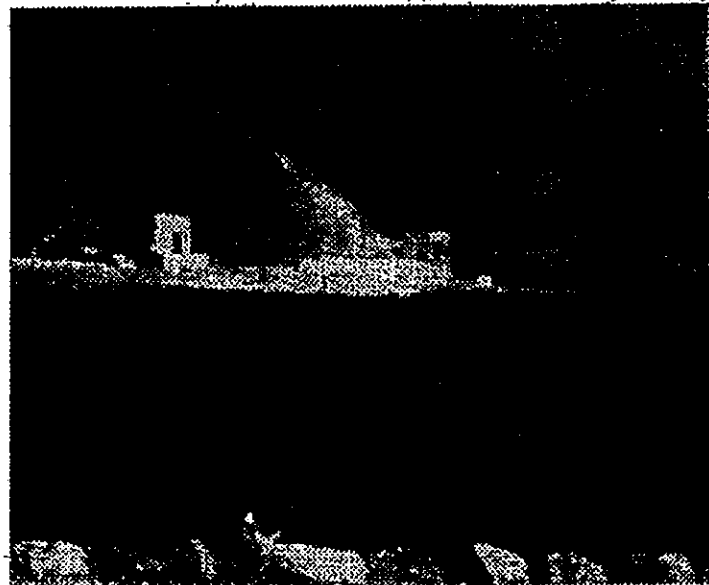
◆③◆

「NLP施設の誘致を。メガフロート構想は条件に、沖縄のような振興特別措置法を制定すれば、ばく大な補助金が落ちる。空港やテーマパーク、大劇場を建設し、岩国は国際的観光都市を目指す」とを示唆している。

米艦載機の夜間発着訓練(NLP)誘致構想をぶち上げる笹川徳光・岩国商工会議所会頭の広げる風評数は大きい。誘致の舞台は、米軍岩国基地東側沖約3・5平方メートルの無人島だ。現在は赤茶けた岩肌がむき出しの島だ。戦後、米軍に接収されて爆撃訓練場となり、現在は期限切れの弾薬の爆破処理場になっている。

米海軍軍本基地を抱え、NLPの騒音問題に苦慮する神奈川県でも99年に準上し、米海軍司令官も検討対象に含めている。岩国基地では現在、滑走路を約1キロ沖に建設する工事が進む。騒音や米軍機墜落の危険性を軽減するための事業だが、川会頭はこの新滑走路で、米軍はNLPを集中的に行う可能性がある。NLP誘致を全面的に打ち出し、沖合に専用滑走路を建設した方が、騒音も減り、経済効果もある」と話す。地元経済界も、この構想について調査、研究することを了承している。

抗感ある広島には無理



誘致構想の舞台となっている岩国市沖の周辺 (田村市議提供)

意気込む岩国の誘致派

「すがない」と断言した。同じ反対派でも、基地の監視運動をする「追跡」在日米軍・リムピース」のメンバー、田村順玄市議は、NLP施設誘致がなし崩しに実現する可能性があるものともみて、危惧を強める。基地の沖合移設事業で、空母入港が可能な深さ13メートルの岸壁が整備されることを重視。「空母入港は地元経済にとってはプラス。」

の施設誘致は絶対に無理だ」とし、土地柄からの有利性も強調する。笹川会頭は、基地が町の発展を阻害してきた過去を逆手に取るという。基地の面積は約570畝。岩国市の平地の3分の1を占める。基地で道路整備は遅れ、周辺工場も制約が多かった。笹川月までに、NLP訓練も

会頭は「基地のせいで失った利益は10兆円にも上る。NLP施設誘致で実利を取るべきだ」と言葉に力を込めた。しかし、米軍の立ち退きを願う市民感情は大きい。市民は長年、騒音などP実施には絶対反対だ。いくら経済効果があっても、市民生活の平穏を乱す施設誘致など出来るはずは無い。20日間実施され、夜間の騒音のすさまじさも知っている。NLP訓練実施の度に県や市は抗議し、市民も座り込みなどをしていた。井原勝介市長は「基地の機能強化やNLP実施には絶対反対だ。P実施には絶対反対だ。いくら経済効果があっても、市民生活の平穏を乱す施設誘致など出来るはずは無い。」

岩国市議田村順玄

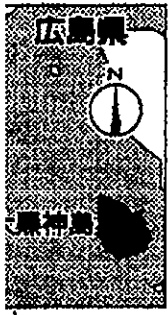
うごめく影

◆④◆

「岩国基地周辺には、苦慮する現状がある。横須賀基地(神奈川県)に訓練エリアが豊富。特にホークが配備されているが、近くの厚木基地では騒音訴訟の取訴などで訓練が困難になっている。基地の監視運動を続ける市民団体「道跡」在日米軍・リムピース」のメンバーの田村順玄・山口県岩国市議は、最近の基地の動きを警戒する。

同団体の調査によると、昨年度の米軍機と自衛隊機の離陸回数は8088回で前年比104.6回増。岩国駐留の米海兵隊所属主力3機の低空飛行訓練の回数も、329回で前年の約1.8倍になった。3月の米陸合同演習に参加した戦闘攻撃機などは、岩国から韓国(川東)まで飛びついで、

岩国基地は、硫黄島供用後もNLPの予備基地に指定され、悪天候などを理由に94年以降計20日間の訓練が実施された。来月7、16日に硫黄島で



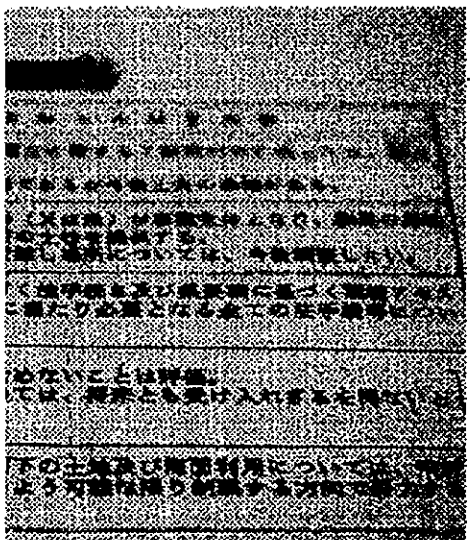
島神黒大に延長の重視

予定される訓練でも、岩国など4基地が予備指定されている。岩国市は再三、全訓練を硫黄島で行うよう要請してきたが、01年6月に発覚した基地の沖合移設事業を巡る「密約はその表向きの姿勢とは逆の内容だった。02年6月18日付の「防衛施設庁と山口県、岩国市との間での合意議事録」と記された文書。同庁整備対策企画室長、同県総務部理事、同市基地

岩国市議も「あの合意議事録に既に効力はなないが、皆川徳光・岩国市議も「岩国基地には、朝鮮半島に最も近い米軍の飛行場がある。米軍は、

「国もあきらめない」

朝鮮半島での問題に備える拠点基地として、さらにも重視するはずだ」と口をそろえる。



と岩国市の担当者は防衛施設庁の施設を容認する意向を示した。受け入れざるを得ないと思料

沖美町の大黒神島は、岩国基地沖わずか約13キロ。田村市議は「大黒神島へのNLP誘致が、岩国基地と連動した構想なり。Vから多

うごめく影

「NLPの誘致構想」

◆⑤◆

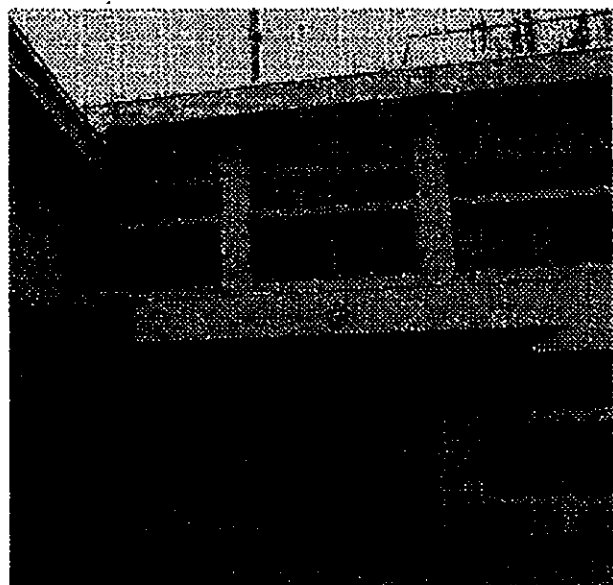
今日22日の大柿町定例
 議会。冒頭で、江能4町
 の合併法定協議会会長を
 務める同町の平口武町長
 は大黒神島基地誘致推進
 期成同盟会の結成などを
 報じた毎日新聞の記事に
 触れ、「町としては昨年
 と変わらず断固反対だ」
 と言い切った。平口町長
 は発言の意図について、

「NLPの誘致構想は4
 町にとって重大な事件。
 住民の関心も高いので、
 改めて町の意思を表明し
 た」と説明する。同盟会
 の結成は、合併を約4カ
 月後に控えた周辺町にも
 波紋を広げ始めた。

その約1カ月前、大柿
 町内で4町の合併協定調
 印式が行われ、4町長が
 固い握手を交わした。01

平口会長は「同盟会の
 動きは許されん。でも、
 松井(沖美)町長は公約
 で誘致反対を掲げただ
 から、私は信じています」
 と静かに語った。しかし、
 合併への影響について問
 うと、「私に聞いても分
 からない。合併をどうす
 ちもりか」と一転して怒り
 をあらわにした。江田島
 町関係者も「合併に向け
 て仲長へおめでとうと一生懸
 命で頑張ってきたのに、

オナリナ新う狙後合併



なく、閑散とした沖美町役場。裏手に回ると
 鳥を見下ろせる。

大柿町長「許されん動き」

ない。
 沖美町の松井晃町長は
 毎日新聞の取材に対し、
 「わしの政治生命をかけ
 て、誘致はやらさん」と
 誘致の可能性を完全に否
 定、同盟会の動きをけん
 制する。
 ところが、同町内では
 誘致賛成、反対の双方か
 ら、「今は無理だが、合
 併後は可能性がある」と
 同じ声が上がっている。
 同盟会の幹部は「新市に
 なって町民の多数決をと
 ったら、賛成の方が多く
 なる。江田島は自衛隊の
 基地がもともとあるし、
 大柿、能美も騒音はそれ
 ほど来ない。それで交付
 金などのメリットは市全
 体に来るんだから」。
 沖美町内の事情通の一
 人は「同盟会としては、
 合併後も誘致構想につい
 て沖美が主導権を握るこ
 とができる」と会結成の
 意図を明かした。
 「決してバラ色の合併
 ではないよ」。閑散とし
 た沖美町の庁舎で、ベテ
 ラン職員が自嘲気味につ
 ぶやいた。「4町の中で
 人口が最も少なく、地理
 的にも西端にある沖美へ
 絶対に本庁舎は来ない。
 でも、合併せずに3年も
 たてば町財政は破たんす
 り。」

とができる」と会結成の
 意図を明かした。
 「決してバラ色の合併
 ではないよ」。閑散とし
 た沖美町の庁舎で、ベテ
 ラン職員が自嘲気味につ
 ぶやいた。「4町の中で
 人口が最も少なく、地理
 的にも西端にある沖美へ
 絶対に本庁舎は来ない。
 でも、合併せずに3年も
 たてば町財政は破たんす
 り。」

うぐいめく影

◆⑦◆



空久保求会長

「屋根が落ちた空き家ばかりになる。自然がきれいどころでないよ。合併したら、新市庁舎の整備などが優先され、そ

母艦機庫の夜間発着訓練(NLP)施設の誘致し

かないと考えたという。6月30日夜に同盟会

の間には人がおらんようになる」

1日、初めて取材に応じた大黒神島基地誘致推進期成同盟会の空久保求会長(59)は、同島が一望

NLP施設の完成予想「沖美町から見える大黒らない」と話す



の右側には、NLP施設誘致に伴う「夢」が列挙され、中央の同町の未来地図には、実現した夢の施設がイラストなどで書き加えられている。

併で人おらん町に

この地図によると、町は町の業者を使う「漁業補償の確保」などの記述もある。空久保会長は、同町内の有力建設会社のは「海上自衛隊輸送・補給基地」もできる。同町長でもあるが、「あくまで住民のため。一個人や企業のためだったら、会長を引き受けない」と話した。「実現性のない話だ。」「美現性のない話だ。」「交際係を強化し、日本国民の安全と平和を守るため」と力を込めた。

町内にもきるかた。町中央部から、新しい橋で江田島町へ直行するバ

イパスが整備される。町内各4カ所に温泉と観光施設が新設され、太陽光

「騒音は、島から4キロ離れる部家充・同町議は被爆2世で、旧社会党出身。

推進期成 基地で「夢」誘致 同盟会長

発電施設や若者向けの団地などもできる。

個条書きの「夢」には、前記のほか、三高港埋め立て▽県道改良▽公共施設の充実などが大項目として挙がる。さらに小項目として、福祉や教育の充実に加え、地元商工業

れたら、4人が集まって話した時ぐら。国のみ、全国被爆二世団体連絡協議会(二世協)の会長も務めた。部家町議は「町が浮くか沈むかの問題じゃ。自分の政治理念と天ひんにつけ、町が生き残る道をとった」と話した。そして、「その

